

令和2年度 事業計画等

1. 令和2年度事業活動推進の理念

「会員相互の発展と活力ある公益社団法人を目指して」

- (1) 組織基盤の強化と会員増強の推進。
- (2) あん摩マッサージ指圧師（以下「あま指師」という。）の「目に見える地域社会貢献活動」の推進。
- (3) 会員支援の為の事務局機能の拡充と強化。

2. 【重点事項】日マ会の事業内容の充実と財政健全化のために

日マ会事業内容の充実、業務の健全化並びに財政健全化のために、理事会においては、平成31年度を通じ、現状の確認、将来予測、あるべき姿、ありたい姿について議論を行ってきた。

日マ会事業の内容を充実させ、魅力ある事業を展開するために、業務の健全化並びに財政の健全化に取り組む姿勢（と早急な実行）が喫緊の課題である、という認識に基づき、将来的には次のような取り組みを行うこととした。

1. 基本として、魅力ある事業の策定のために、多くの会員からの意見を反映させるべく、やりたい事業リストの作成を行い、事業に反映させる。
2. 広報事業においては、①会報の編集内容の大幅な改編、②読める会報づくり、③メール & FAXの活用、④HPの活用状況を分析し、⑤会員向けHPの活用並びに、非会員に向けても情報発信を可能とする。
3. 研修事業においては、①8ブロック30地区における日マ会の自主事業としての研修会の実施をめざすとともに、②財政健全化後には、研修費補助の実施、③施術等に関する小冊子の発行・配布、抄録の発行・配布に取り組む。
4. 施術の向上や研修セミナーの場として、さらには収益事業として施術所の開設を鑑み、計画立案、推進を行い、近い将来に、当会の財政基盤に寄与するとともに、当会独自の事務局の設置を図り、会員相互の交流を深める場を設ける。
5. 日マ会事業の内容を充実させ、魅力ある事業を展開するために、会員の増強を図り、徹底的な支出の削減に取り組みつつ、財政健全化を図るための方策として会費の改定を含め、早急に必要手段を講じる。
6. 理事会等についても、財政健全化の後には、役員（理事・監事）の全員参加を可能とするよう取り組む）

3. 主要事業計画

本会が、上記理念に基づき、以下に示す事業活動を推進することにより、会員の「資質向上と業容安定化」を図ると共に、一般社会に「安全・安心」の施術を提供し、国民の保健衛生・健康増進に寄与する。

1) 組織基盤の強化

本会は、社会福祉法人 日本視覚障害者団体連合（以下「日視連」という。）と密接な関係にあり、日視連が築いている各都道府県・政令指定都市に存在する団体等との関係を強化し、組織の拡大と会員の増強を推進する。

更に具体的施策として、本会会員が在住している47都道府県を8ブロック30地域に細

分化し、理事がブロックを掌握し、30地域に属する都道府県には責任者を置き、速やかな情報の伝達・吸い上げ等が出来る活性化した組織として基盤を強化する。

2) あま指師の資質向上を図る事業

この事業は、あま指師の施術について、有資格者の知識・技術研鑽を目的とした研修会を開催し、併せて国民の一般的医学知識の醸成を推進するものである。会員の資質向上と国民の一般的医学知識の習得の為、社会福祉法人 日本視覚障害者団体連合 あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師協議会「以下（日視連 あはき協議会）という。」、と共催した中央三療研修会をはじめとして、各地域の任意団体が主催する三療研修会を開催する。更にこれらの研修を公益財団法人 東洋療法研修試験財団「以下（財団）という。」が制定する生涯研修として位置づけ、より充実した資質向上のための研修事業として行う。

なお、この研修事業は国民の一般的医学知識の醸成の推進も役割の一つであり、不特定多数の者の参加を容易にしている。前述の国民の一般的医学知識の醸成推進の具体的方策として、「目に見える地域社会貢献活動」を計画し実施する。

これは、全国に存在する団体等が開催する事業（イベント・お祭り等）に参画し、本会会員が持っている「安全・安心」の施術を提供することにより、あん摩マッサージ指圧が国民の健康の増進に寄与することの周知を促進すると共に、一般的医学知識の醸成も併せて推進するものである。

本年度の活動としては、各地域の技術研鑽活動が十分実施されるように支援を行う。

又、近年において国家資格を有しない者（無資格者）によると思われる「手技による医業類似行為」が跋扈しており、これら無資格者により医業類似行為を受けた受療者からの「危害・健康被害」等の訴えが頻発している。

これらの事象は、有資格者の業容に大きな影響を与えているばかりでなく、一般国民に対して公衆衛生上看過できない状況となっており、組織を挙げて「あはき法」の遵守運動を強く推進する。

これら無資格者の医業類似行為による「危害・健康被害」の報告・相談が国民生活センターに提出されており、その発生状況は増加の一途を示している。被害の中には治癒するまでに数ヶ月有余を要した事例もある。

こうした中、具体的活動として

近隣駅周辺等において、有資格者による手技療法（あん摩マッサージ指圧）の受療促進のチラシ配布を行い、一般の人々の健康維持・増進と健康被害防止の周知活動を推進する。

尚、本会は下記の地域研修会等を開催し、有資格者の知識・技術研鑽を更に進め、あん摩マッサージ指圧施術者の地位を確固たるものとする為の活動を推進して行く。

※三療研修会等開催予定※

- (1) 中央三療研修会：開催予定
- (2) 関東地域三療研修会：開催予定
- (3) 中国地域三療研修会：開催予定
- (4) 愛媛県視覚障害者マッサージ師会：開催予定
- (5) 第14回神奈川、千葉、埼玉合同技術研修会：開催予定
- (6) 第15回神奈川、千葉、埼玉合同技術研修会：開催予定

3) 健康保険療養費支給申請制度の普及・推進を図る事業

3) -1 健康保険療養費支給申請制度の普及・推進を図る事業について

この事業は健康保険制度を利用した、あん摩マッサージ指圧・施術による療養を、国民に広く周知させる為の事業である。

具体的には、筋麻痺、筋萎縮及び関節拘縮等の機能障害に関して、原因とする疾病が多種多様であり、療養を受ける患者はこれらの疾病に対して、健康保険を適用したあん摩マッサージ指圧・施術を受療する事が出来るかどうかを判断する知識や情報をもっておらず、患者が最良の選択をできる状態にない。

そこで本会では、あま指師による「安全・安心で質の高い施術」について国民への周知や「厚生労働大臣免許保有証」の普及に努めている。

全国の施術所において「健康保険施術マニュアル」を施術対象者に配賦し、保険適用となる要件について、来所・訪問の患者を問わず丁寧かつ詳細に説明するなど、健康保険療養費支給制度の普及・推進活動を強く進める。

平成26年には、普及推進の為の啓発ポスター・チラシ等を作成し、施術所室内に掲示するなどして周知活動を進めてきたが、本年も引き続き更なる普及・推進を図ることを目的として、ホームページに「健康保険利用促進チラシ」を継続して掲載し、誰でもが参照できるようにしている。

又、来所した被保険者や往療した際の被保険者・家族等に対してチラシ内容を説明し、健康保険制度を利用したあん摩マッサージ指圧・施術による療養が可能であることを、広く国民に周知する。

3) -2 健康保健療養費支給申請の相談・助言・支援を行う事業

この事業は、あま指師が施術を行った結果の健康保険療養費支給申請手続き等について、相談・助言・支援を行っている。この内、視覚に障害をもち、自身での療養費支給申請が困難な方に対しては、合理的配慮の面から代筆代行申請の事務を取扱うことによる支援を行っている。

従ってこれらの事業を推し進めることにより、患者・施術者にとって煩わしい手続の負担軽減を計る事ができ、更には施術の取込み等を容易にし、業容安定化への支援を更に高めて行く。

併せて広く一般の人々に「安全・安心」の施術を提供し、国民の公衆衛生の向上に資すると共に、更には健康保険制度の適正運営に寄与する、この事業の拡大を一層推進する。

4) 学術振興、施術研究の成果及び資料の提供を行う事業

4) -1 関係する諸団体からの各種情報収集・発信事業

情報収集事業としては、関係する諸団体が開催する会議及びセミナー、シンポジウム等に出席し、あま指師が必要とする情報を収集・発信する。情報を発信する手段としては、ホームページ（原則月次更新）並びに広報誌日本マッサージ新報（以下「日マ新報」という。）がある。

日マ新報（墨字・点字）については会員への配布だけでなく、日視連、都盲協、点字図書館、都道府県・政令指定都市にある視覚障害者福祉協会等団体に無料配布し、情報発信事業を推進しており今後も本事業を継続していく。

4) -2 施術研究の委託事業、海外文献の翻訳委託事業

学術振興事業としては、本会の事業に密接な関連を持っている大学及びそれらの研究室に対して、（１）現在の施術方法の改善（２）あん摩マッサージ指圧の将来展望（３）西洋医学とあん摩マッサージ指圧の高度な融合（４）あん摩マッサージ指圧の医学的検証等々のテーマを持って学術振興事業を委託推進する。

4. その他の事業（相互扶助等事業）について

1) 会員の福利厚生に資する事業

会員の福利厚生の充実を図ると共に、あま指師の生活基盤の安定を支援するため、三井住友海上火災保険と提携し、団体損害保険制度を導入し現在に至っている。

今後も加入会員の経済的負担と精神的負荷を軽減し、生業の安定を支援する目的の事業であり、更に多くの会員の団体保険加入を推進する。

2) 会員に対する情報提供と相互情報交換事業

2) -1 関係諸団体からの各種情報収集・情報提供と相互情報交換事業

本会が関係する諸団体の各種会議及びセミナー、シンポジウム等に役員が出席し、その内容や意見交換などで収集した情報を（1）ホームページ（2）日マ新報等に掲載して公表する。この情報は、本会会員はもとより一般社会の不特定多数の者の閲覧を容易にしている。このような各種媒体（点字、音声、音声コード、拡大文字、一般文字）での情報提供については、既に日マ新報をホームページ上において音声を提供し、点字版についても会員及び関係する諸団体、日視連傘下の各視覚障害者の団体に対し墨字版と共に送付し、各種情報提供を行っている。

また、日マ新報（平成31年1月発行分より）を会員の希望者を対象にしたメール配信を実施している。配信の形式として、①会報のPDFデータの添付、②メール本文への会報のテキストデータの貼り付け、二つの形式を用意することで会員それぞれが利用しやすい形でのデータを提供している。

本年度も、各種媒体での情報提供を更に推進する。

2) -2 「(仮称)三療技術情報」の提供事業

本会の各地域任意団体が開催する三療研修会において、使用した講義資料（文章・図）等を収集し、諸般の事情で研修会に参加出来なかった会員等に対して、資質の向上を図ることを目的とし、「(仮称)三療技術情報」の提供事業（実費頒布）を行う事を再検討し実施していく。

2) -3 健常者との意見交換会

視覚障害者に対する理解者（ファン）の底辺拡大を図る活動を推進。

(1) 健常者から見た（感じた）視覚障害者の生活環境について

(イ) 日マ会視覚障害者会員と晴眼者会員との意見交換

(ロ) 公共交通機関の利用環境

(ハ) 通行（特に歩道）環境

①歩道上の障害物について

②自転車の恐怖

(2) 近隣小学校の教育（4年生を対象）の一端に参画させて頂き、視覚障害者の身近な生活について話し合いをして相互理解を深める活動を進めていく。

2) -4 ホームページの機能アップ

(1) 会員同士が情報の受発信を自由に書き込みできるシステムを追加・確立する。

(2) ホームページの白黒反転及び音声化等の導入を進める。

2) -5 貢献活動について

神奈川地域における「横浜マラソン」等、地域で開催される催事に参加してマッサージ指圧の奉仕活動を進める。

以上

収 支 予 算 書

この「収支予算書」は点字用に要約したものです。

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常収益の部			
① 受取会費等	9,750,000	10,040,000	▲290,000
② 事業収入			
保険部会費	840,000	900,000	▲60,000
療養費事務手数料	8,400,000	8,880,000	▲480,000
賠償保険事務手数料	600,000	700,000	▲100,000
その他の収入	367,000	220,000	147,000
③ 寄付金・雑収入	422,000	362,000	60,000
当期収入合計	20,379,000	21,102,000	▲723,000
2. 経常費用の部			
① 事業費(公益・収益等事業)	15,458,000	16,546,900	▲1,088,500
給料手当	500,000	0	500,000
給料手当(委託費)	9,790,000	8,900,000	890,000
会議費	56,000	112,000	▲56,000
旅費交通費	1,950,000	3,610,000	▲1,660,000
通信運搬費	765,000	950,000	▲185,000
会報発行費	500,000	620,000	▲120,000
賃貸料	855,000	855,000	0
広報費	222,500	356,000	▲133,500
その他の経費	819,900	1,143,900	▲324,000
② 管理費	3,561,600	2,643,100	918,500
給料手当(委託費)	1,210,000	1,100,000	▲110,000
会議費	144,000	288,000	▲144,000
旅費交通費	1,050,000	190,000	860,000
通信運搬費	135,000	50,000	85,000
租税公課	70,000	70,000	0
広報費	27,500	44,000	▲16,500
委託費(人件費)	800,000	800,000	0
その他の経費	125,100	101,100	24,000
特定預金支出			
周年事業積立金	0	0	0
予備費	0	0	0
当期支出合計	19,020,000	19,190,000	▲170,000
当期収支差額	1,359,000	1,912,000	▲553,000
正味財産期首残高	▲7,069,303	▲556,473	▲6,512,830
正味財産期末残高	▲5,710,303	1,355,527	▲7,065,830

正味財産増減計算書

(西暦2020年4月1日～西暦2021年3月31日)

(単位:円) (公社)日本あん摩マッサージ指圧師会

款 項	令和2年度 予算(案)A	令和1年度 実績予測 B	平成31年度 予算 C	平成30年度 決算 D	増減(前年比) A-C	備 考
(1)経常収益						
会 費	9,750,000	9,523,500	10,040,000	9,336,800	▲ 290,000	
受取会費	9,600,000	9,391,500	9,840,000	9,175,800	▲ 240,000	1,600人×@6,000
受取入会金	150,000	132,000	200,000	161,000	▲ 50,000	150人増×@1,000
事業収入	10,207,000	9,752,335	10,700,000	9,113,219	▲ 493,000	
研修会参加費	240,000	118,000	180,000	259,728	60,000	20人×3回×@4,000
保険部会費	840,000	875,000	900,000	813,000	▲ 60,000	280施術者×@3,000
療養費事務手数料	8,400,000	8,030,835	8,880,000	7,102,293	▲ 480,000	12ヶ月×@700,000
免許保有証事務受託手数料	7,000	32,050	40,000	236,000	▲ 33,000	20人×@350
賠償保険事務手数料	600,000	631,450	700,000	702,198	▲ 100,000	手数料+制度維持費(各300,000円)
広告料	120,000	65,000	0	0	120,000	12口×5,000円(年2回)
受取寄付金						
受取寄付金	320,000	414,760	320,000	300,000	0	
雑収益					0	
受取利息	2,000	63	2,000	79	0	
雑収益	100,000	72,500	40,000	333,990	60,000	原稿料及びワンコインマッサージ等
当期収入合計 (A)	20,379,000	19,763,158	21,102,000	19,084,088	▲ 723,000	
前期繰越金	▲ 7,069,303	▲ 5,178,065	▲ 556,473	▲ 556,473	▲ 6,512,830	
経常収益計 (B)	13,309,697	14,585,093	20,545,527	18,527,615	▲ 7,235,830	

款 項 目	令和2年度 予算(案)A	令和1年度 実績予測 B	平成31年度 予算 C	平成30年度 決算 D	増減(前年比) A-C	備 考
(2)経常費用						
事業費(公益・収益等事業)	15,358,400	16,280,841	16,546,900	17,549,502	▲ 1,188,500	
役員報酬	0	0	0	0	0	
給料手当	400,000	1,420,525	0	0	400,000	
給料手当(委託費)	9,790,000	8,655,238	8,900,000	9,814,232	890,000	
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	
退職給付費用	0	0	0	0	0	
福利厚生費	0	0	0	0	0	
会議費	56,000	123,441	112,000	147,662	▲ 56,000	
旅費交通費	1,950,000	2,643,411	3,610,000	2,884,350	▲ 1,660,000	
通信運搬費	765,000	720,512	950,000	1,170,260	▲ 185,000	
減価償却費	0	0	0	0	0	
消耗品費	142,400	163,742	142,400	176,881	0	
印刷製本費	133,500	270,619	133,500	436,479	0	
光熱水道料	96,000	96,000	120,000	106,800	▲ 24,000	
会報発行費	500,000	469,407	620,000	356,189	▲ 120,000	4回/年発行から2回/年に変更
賃借料	855,000	1,049,067	855,000	1,157,861	0	PC、TV会議、家賃等
図書費	20,000	0	20,000	3,660	0	
広報費	222,500	185,460	356,000	494,528	▲ 133,500	
支払負担金	250,000	213,219	250,000	130,000	0	研修会など講師料・会場料等
委託費(研究委託)	0	0	300,000	300,000	▲ 300,000	
雑費	178,000	270,200	178,000	370,600	0	
管理費(法人会計に類するもの)	3,661,600	5,373,555	2,643,100	6,156,178	1,018,500	
役員報酬	0	0	0	0	0	
給料手当	100,000	0	0	0	100,000	
給料手当(委託費)	1,210,000	1,069,749	1,100,000	1,175,916	110,000	
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	
退職給付費用	0	0	0	0	0	
福利厚生費	0	0	0	0	0	
会議費	144,000	486,020	288,000	496,411	▲ 144,000	
旅費交通費	1,050,000	1,445,368	190,000	2,159,904	860,000	
通信運搬費	135,000	140,427	50,000	125,288	85,000	
減価償却費	0	0	0	0	0	
消耗品費	17,600	46,693	17,600	15,043	0	
印刷製本費	16,500	195,736	16,500	215,149	0	
光熱水道料	24,000	24,000	0	13,200	24,000	
賃借料	45,000	55,200	45,000	140,316	0	
租税公課	70,000	71,850	70,000	72,300	0	
広報費	27,500	22,921	44,000	10,000	▲ 16,500	
委託費(会計ほか)	800,000	1,678,586	800,000	0	0	ペンデル委託費(会計処理、公益サポート)
雑費	22,000	137,005	22,000	1,732,651	0	
特定預金支出						
周年事業積立金	0	0	0	0	0	
予備費	0	0	0	0	0	
当期支出合計 (C)	19,020,000	21,654,396	19,190,000	23,705,680	▲ 170,000	
当期収支差額 (A)-(C)	1,359,000	▲ 1,891,238	1,912,000	▲ 4,621,592	▲ 553,000	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	▲ 5,710,303	▲ 7,069,303	1,355,527	▲ 5,178,065	▲ 7,065,830	

正味財産増減計算書内訳表

2019.03.06 作成

(西暦2020年4月1日～西暦2021年3月31日)

(公社)日本あん摩マッサージ指圧師会

勘定科目		公益目的事業 会計		収益事業等会計				法人会計	合計
		公 1 公衆衛 生向上	配 賦 率	他 1 団体損 保取次	配 賦 率	他 2 相互情 報交換	配 賦 率		
I 一般正味財産増減の部									0
1. 経常増減の部									0
(1) 経常収益									0
基本財産運用益		0		0		0		0	0
中科目別記載									0
特定資産運用益		0		0		0		0	0
中科目別記載									0
受取入会金		75,000		0		0		75,000	150,000
受取入会金	入会金	75,000	0.50					75,000	150,000
受取会費		3,360,000		1,440,000		960,000		3,840,000	9,600,000
受取会費	当期会費/過年度会費	3,360,000	0.35	1,440,000	0.15	960,000	0.10	3,840,000	9,600,000
事業収益		9,487,000		720,000		0		0	10,207,000
研修会参加費	研修会参加費	240,000	1.00		0		0		240,000
保険部会費	保険部会費	840,000	1.00						840,000
療養費事務手数料	療養費事務手数料収入	8,400,000	1.00						8,400,000
免許保有証事務受託手数料	免許保有証事務受託手数料	7,000	1.00						7,000
賠償保険事務手数料	賠償保険事務手数料収入	0		600,000	1.00				600,000
広告料	広報誌			120,000	1.00				120,000
受取補助金等		0		0		0		0	0
中科目別記載									0
受取負担金		0		0		0		0	0
中科目別記載									0
受取寄付金		320,000		0		0		0	320,000
受取寄付金	寄付金	320,000	1.00						320,000
雑収益		0		0		0		102,000	102,000
受取利息	雑収入							2,000	2,000
雑収益								100,000	100,000
経常収益計		13,242,000		2,160,000		960,000		4,017,000	20,379,000
(2) 経常費用									
事業費		12,524,300		1,941,500		796,600		96,000	15,358,400
給料手当	給料手当	100,000	0.20	200,000	0.40	100,000	0.20		400,000
給料手当(委託費)	給料手当	7,480,000	0.68	1,650,000	0.15	660,000	0.06		9,790,000
臨時雇賃金									0
退職給付費用									0
福利厚生費									
会議費	総会/理事会/公益法人推進会議	56,000	1.00						56,000
旅費交通費	旅費・交通費(上部連携費/関連団体推進費)	1,950,000	1.00	0		0			1,950,000
通信運搬費	保険審査申請書/通信費	765,000	1.00						765,000
減価償却費	備品減価償却引当積立金								
消耗什器備品費									0
消耗品費	消耗品費(管理)	108,800	0.68	24,000	0.15	9,600	0.06		142,400
修繕費									0
印刷製本費	資料作成頒布費/印刷費	133,500	1.00						133,500
光熱水道料								96,000	96,000
会報発行費	会報発行費	500,000	1.00						500,000
賃借料		855,000	0.95						855,000
図書費	情報収集費	20,000	1.00						20,000
広報費	関連広報費/雑費	170,000	0.68	37,500	0.15	15,000	0.06		222,500
支払報酬	幹事会								0
支払負担金	支部協力費/研修会費/組織強化費/特別事業費	250,000	1.00						250,000
委託費	研究委託費	0	1.00						0
雑費	雑費(管理費)	136,000	0.68	30,000	0.15	12,000	0.06		178,000

勘定科目		公益目的事業 会計		収益事業等会計				法人会計	合計
		公 1 公衆衛 生向上	配 賦 率	他 1 団体損 保取次	配 賦 率	他 2 相互情 報交換	配 賦 率		
管理費		0		0		0		3,661,600	3,661,600
役員報酬									0
給料手当	給料手当							100,000	100,000
給料手当(委託費)	給料手当							1,210,000	1,210,000
臨時雇賃金									0
退職給付費用									0
福利厚生費									0
会議費	総会/理事会/公益法人推進会議							144,000	144,000
旅費交通費	旅費・交通費(上部連携費/関連団体推進費)							1,050,000	1,050,000
通信運搬費	保険審査申請書/通信費							135,000	135,000
減価償却費	備品減価償却引当積立金								
消耗什器備品費									0
消耗品費	消耗品費(管理)							17,600	17,600
修繕費									0
印刷製本費	資料作成頒布費/印刷費							16,500	16,500
光熱水道料								24,000	24,000
賃借料								45,000	45,000
保険料									0
諸謝金									0
租税公課	法人都民税							70,000	70,000
広報費	関連広報費/雑費							27,500	27,500
支払報酬	幹事会							0	0
支払負担金									0
支払助成金									0
支払寄付金									0
支払利息									0
委託費	公益・研究委託								
委託費	ペンテル・会計、公益申請他							800,000	800,000
雑費	雑費(管理費)							22,000	22,000
特定預金支出									
周年事業積立金	周年事業積立金							0	
予備費	予備費							0	
経常費用計		12,524,300		1,941,500		796,600		3,757,600	19,020,000
評価損益等調整前 当期経常増減額		717,700		218,500		163,400		355,400	1,455,000
基本財産評価損益等									0
特定資産評価損益等									0
特定有価証券評価損益等									0
評価損益等計 当期経常増減額		717,700		218,500		163,400		355,400	1,455,000
2. 経常外増減の部									0
(1) 経常外収益									0
中科目別記載		0		0		0		0	0
経常外収益計		0		0		0		0	0
(2) 経常外費用									0
中科目別記載		0		0		0		0	0
経常外費用計		0		0		0		0	0
当期経常外増減額		0		0		0		0	0
他会計振替額		0		0		0		0	0
当期一般正味財産増減額		717,700		218,500		163,400		355,400	1,455,000
一般正味財産期首残高	貸借対照表(正味財産) 財産目録(正味財産)額								0
一般正味財産期末残高		717,700		218,500		163,400	0	355,400	1,455,000
II 指定正味財産増減の部									0
受取補助金等									0
一般正味財産への振替額									0
当期指定正味財産増減額		0		0		0	0	0	0
指定正味財産期首残高		0		0		0	0	0	0
指定正味財産期末残高		0		0		0	0	0	0
III 正味財産期末残高		717,700		218,500		163,400	0	355,400	1,455,000